



令和4年 せんだい自民党活動方針

姿勢

自由民主党の綱領に基づき、市民与党の立場で市民の幸せと市政発展の実現に取り組んでまいります。

方針

- 市民の安全と安心を第一に政策集団として市政の課題に取り組みます。
- 特に地域力の向上、子育て世代等への支援、また経済の活性化を重視します。

取り組み方

- 各世代・各分野の皆様と意見交換を行うとともに、現地調査によって実態・課題を把握します。
- 国、県、関係市町村との連携・協力を促進します。
- 市民の皆様正しい情報を発信します。



たむら まさる
田村 勝

宮城野区(1期)

きくち たかよし
菊地 崇良

若林区(3期)

ささき しん
佐々木 心

太白区(2期)

あとお 薫

青葉区(4期)

むらおか たかこ
村岡 たかこ

青葉区(1期)

さいとう のりお
斎藤 範夫

泉区(5期)

さとう まさあき
佐藤 正昭

若林区(8期)

現場主義! せんだい自民党 TOPICS

私たちの日々の活動の一部をご紹介します。

② 子育て支援の現場の実態と課題を把握!

特定非営利活動法人STORIA様
が取り組む「孤立する家庭を防ぐためのアウトリーチ事業」の現場を訪問しました。これは、主にひとり親や困窮家庭からのメール等による相談へ親身に対応するとともに、高砂団地西区町内会や学生ボランティアの協力を得て、子どもたちを見守り育む居場所の提供を行うものです。



この事業の拡大を議会で提言したところ、令和4年度から各で相談事業が行われることになりました。公的支援との相乗効果を期待します。

また、近年、市内各地で子供食堂が開設されています。今回は連坊コミュニティセンターで運営している主催者のお話を伺いました。地元企業から食材などの提供を受け、ここでも町内会と学生や一般ボランティアの協力でお弁当が作られていました。このような善意の皆様の活動は私たち市民の宝です。しっかりと応援してまいります。



① 県との連携 ~第1弾~ 村井知事との意見交換

令和4年度の第1回定例会に先立ち、会派全員で宮城県知事を訪問しました。コロナ禍から県民市民を守る取り組みの強化と、事業者支援の充実を求めたほか、現在検討されている4病院の統合は、通院者の利便性と救急搬送時間が低下する懸念があることを伝えました。また、市が音楽ホールを青葉山交流広場に建設するため、県が宮城野区に移転を予定する新たな県民会館と競合する可能性や、移転後の中心市街地の活性化をどのようにするべきか、などについて熱い意見を交わしました。引き続き県と市の効果的な連携のため、分析と政策提言を行っていききたいと思います。



② 近隣自治体との連携 ~第1弾~ 山田市長/名取市との意見交換

名取市の山田市長とは、コロナ禍対応のほか、同市が進めている復興事業「かわまちてらす閣上」や「サイクルスポーツセンター」と仙台市沿岸部のにぎわい事業との回遊性、優れた音響の名取市文化会館の成功事例、そして、4病院統合についての考え方等について意見交換しました。市長からは両市連携の積極的なご意見を頂戴しました。持続可能な仙台都市圏の構築に向けた取り組みが、今こそ求められています。



③ アクアイグニス仙台を視察

若林区藤塚で4月21日オープン「アクアイグニス仙台(温泉と食の複合施設)」を視察しました。この施設は、復興事業として民間事業者からの公募・協力によって建設・運営されます。すでに開設した「JRフルーツパーク仙台あらはま」、「せんだい3.11メモリアル交流館」や「震災遺構・荒浜小学校」、名取市の復興事業、県による貞山運河の利活用などとあわせ、震災の伝承と水辺の新たな賑わいづくりを目指し、提言を重ねたいと思います。



④ 仙臺緑彩館を視察

青葉山公園の片倉小十郎邸跡地に「仙臺緑彩館(せんだいりょくさいかん)」の建設が進んでいます。仙台城大手門の建設を見据えた市民の憩いの場として、また、今後の観光交流の情報集積拠点として活用する予定です。なお、青葉山公園は令和5年度の全国都市緑化仙台フェアのメイン会場になることが決まっています。

